|  |
| --- |
| 情報Ⅰ　No.03問題解決 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | １ | 組 |  | 番 |  | 名前 |  |

2022©Assumption-Kokusai

|  |
| --- |
| 第1章　情報社会の問題解決　３．問題解決の考え方 |

【実習１】　問題解決の考え方を「よく飛ぶ紙飛行機を制作」を通して、体験的に学ぼう。

|  |  |
| --- | --- |
| １．  問題の  明確化 | 理想：遠くまで飛ぶ紙飛行機を作りたい  　　　　↕　理想と現実のギャップ  現実：今までの方法で紙飛行機を作ってもうまく飛ばない |

|  |  |
| --- | --- |
| ２．  問題の  整理と分析 | 紙飛行機をよく飛ばすには・・  　①よく飛ぶ紙飛行機の折り方があるはず  　②よく飛ぶ飛ばし方があるはず |

　作業１　よく飛ぶ紙飛行機の作り方・飛ばし方を自分で調べて記入しよう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３．  解決案の  立案 | ①よく飛ぶ紙飛行機の作り方 | ②よく飛ぶ飛ばし方 |
| ・調べたサイト、内容をメモしよう | ・調べた内容をメモしよう |

　作業２　グループで相談して、グループで制作する紙飛行機を決定する。

|  |  |
| --- | --- |
| ４．実行 | 作業３　A4のコピー用紙で実際に制作し、飛ばし方も工夫して実行してみる |

　作業４　３回試行し、飛ばしてみた結果（滞空時間、距離、飛び方）を下に記録する

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ５．評価 | ①1回目  滞空時間（　　　　）秒 | ②2回目  滞空時間（　　　　）秒 | ③3回目  滞空時間（　　　　）秒 |

　作業５　結果から改善すべきことを記録する

|  |  |
| --- | --- |
| ６．共有  改善 |  |

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| ①（　　　　　　　）＝理想と現実のギャップのこと |
| ↓　　　（例）体重が気になるのであと5kg減らしたい |
| （　　　　　　　）＝不便な事柄や目標や課題に対して解決策を考え実現すること |
| （例）12時間ダイエット、毎日6000歩歩く、炭水化物を減らす、水泳・・・ |
|  |
|  |
| ②よい問題解決の流れの例 |
| １）問題と目標の明確化　＝　現状を把握する |
| ２）問題の整理と分析　　＝　Webサイトなどで情報を収集し分析する |
| ３）解決策の立案　　　　＝　集めた情報から解決策を立案する |
| ４）実行　　　　　　　　＝　解決策を実行する |
| ５）評価　　　　　　　　＝　解決策が効果があったか評価する |
| ６）共有　　　　　　　　＝　うまくいったことを共有し、次の問題解決に役立てる |
|  |
|  |
| ③問題解決の流れの例（　　　　　　　） |
| １）Plan（計画）→２）Do（実行）→３）Check（評価）→４）Act（改善）→Plan・・ |
|  |
|  |
| ④問題解決で利用する手法（教P48－55） |
| １）（　　　　　　　）＝問題の全体像を明らかにしたり、解決策を考えたりするときの手法 |
| ４つの原則・他の人の発言を批判しない　　　　・遠慮しないで自由に発言する |
| ・できるだけたくさんの提案を出す　・他の人の発言に便乗した改善も歓迎する |
| ２）（　　　　　　　）　＝物事を分解・整理する手法 |
|  |
|  |

【考えよう】身近な問題解決の例を考えて書きましょう。☞2つ以上箇条書きで

|  |
| --- |
|  |

【振り返り】No.3の実習・知識で知ったこと、考えたこと、思ったことを書きましょう。

　　　　　　☞3つ以上箇条書きで

|  |
| --- |
|  |